

節分に 鬼もたまげた 雨がふり 梅柿

佐藤寿三郎の議員活動詳報

ことぶき月報 (No.257) 2020年2月号

終世書生気質：ブログ・千曲のかなた (日々の議員活動をお伝えしています)

【教育委員会からのメールを転記】

須坂市教育委員会では、総理大臣要請を受けて、3月2日月曜日から、市内小・中学校・支援学校の臨時休業を決定致しました。

児童クラブについては春休みと同じように開所します。

保育園は通常どおり保育を実施します。

保護者の皆様には、詳細を含めて改めて学校から通知致しますので、よろしくお願い致します。

◎ 令和元年台風第19号(東日本台風)に関する 県内の被害対応状況の報道備忘録(令和2年2月分)

- 2/3 ○被災農機具の補助 受け付け開始 NHK長野
 - 中野市に被災者支援のセンター NHK長野
 - 治水対策一層強化を 長沼の住民集会 国へ注文NHK長野・信濃毎日
- 2/6 ○長野市、「復興計画」素々案 災害公営住宅や治水対策盛る
信濃毎日、日本経済新聞D、NHK長野
 - 県予算案20年度9476億円 台風対応に累計1595億円
 - 19年度補正含め 信濃毎日、NHK長野、日本経済新聞D
 - 長野県、重い災害復旧費 財政かじ取り難しく 日本経済新聞D
- 2/7 ○災害復旧・復興対応に1595億円 県予算案 朝日新聞D
- 2/10 ○被災建物のアスベスト対策徹底を NHK長野
 - 浅川の治水対策 排水施設増設も NHK長野
- 2/11 ○浅川の内水氾濫 県がシミュレーション 信濃毎日
- 2/13 ○防災アンケート 技術者の確保に力入れて 信濃毎日・社説
- 2/14 ○長野の千曲川、遊水池を新設 治水強化で緊急計画始動 日本経済新聞D
- 2/15 ○被災住民の生活維持を 県が13市町村に支援1億円 補正予算案
信濃毎日 2/15
- 2/19 ○台風19号「東日本台風」と命名 NHK長野
- 2/20 ○被災農地の泥「環境面問題なし」NHK長野
 - 災害ごみ処理に100億円 台風被災の長野市 朝日新聞D
- 2/21 ○復興計画策定で住民アンケート NHK長野

- 2/22 ○千曲川治水の遊水地 一つは長野・篠ノ井塩崎が候補 信濃毎日
2/25 ○「避難行動要支援者名簿」提供に差 千曲川沿い15自治体 信濃毎日
2/26 ○復興計画素案に住民代表が意見 NHK長野
2/28 ○台風19号の最大流量、千曲川の2カ所で整備目標流量超過
中野市と千曲市 信濃毎日

※ **ゴシック太字**は須坂市にも関係する事柄。

【須坂市議会令和2年3月定例会を招集】

1. 【私の議会内議員活動】

令和2年3月定例会は、2月18日招集され開会いたしました。

上程された議案は、事件決議2件、条例9件、補正予算8件、当初予算8件です。

議案の委員会審査結果並びに本会の議決結果につきましては、次号月報No.258でご報告いたします。

会期の日程は、2月18日から3月13日までの25日間です。

(1) 各委員会の開議

1) 予算決算特別委員会

開議日時 令和2年2月10日

開議場所 議会第4委員会室

協議事項 ①欠員となった副委員長を委員長指名推薦で石合敬議員が就任。
②2020年当初予算の説明：中澤副市長・総務部長外。

開議日時 令和2年2月18日

開議場所 議会第4委員会室

協議事項 当初予算審査の分科会委託について。

(2) 全員協議会

開議日時 令和2年2月18日

開議場所 議会第4委員会室

協議事項 ①3月定例会の会期日程について
②本日の議事日程及び議案の取扱いについて
③各委員長からの報告
④組合議会等の報告外

開議日時 令和2年2月28日

開議場所 議会第4委員会室

協議事項 新型コロナウイルスに対応する須坂市教育委員会の方針等

(3) 会派代表者会議

開議日時 令和2年2月28日

開議場所 議長室

協議事項 市長 5 期にあたり、副市長等の人事案件について。

(4) 今 3 月定例会一般質問で私が取り上げた諸課題

1. 須高地域の防災・減災・安心安全のために

- (1) 台風第 19 号に関わる諸課題の再検証について
- (2) 信濃川水系の水害対策・治水・浸水被害の軽減対策について
- (3) 県の「気候非常事態宣言」について
- (4) 長野盆地一帯 地下に断層 11 ヶ所の存在の指摘について

2. 須坂の子どもたちをどう護るか！

- (1) 不登校原因の要因の乖離について
- (2) インフルエンザと新型肺炎の対応について

3. 須坂市の景気動向について

- (1) 消費増税更に台風第 19 号の被害、新型コロナウイルスによる経済の落ち込みの懸念について

(5) 今 3 月定例会の代表筆問・一般質問総括

今定例会で 1 会派が代表質問を、14 名の議員が一般質問を行いました。
取り上げた課題区分は概ね以下のとおりです。

- 行政全般 10 議員
- 福祉・環境問題 6 議員
- 教育問題 9 議員
- 時事問題 3 議員
- 産業振興問題 2 議員
- 須坂市の活性化等 2 議員

2. 【長野広域連合議会 2 月議会】

開議日時 令和 2 年 2 月 14 日

開議場所 長野市議会議場

- 上程議案
1. 令和 2 年度長野広域連合一般会計予算
 2. 令和 2 年長野広域連合老人福祉施設等運営事業特別会計予算
 3. 令和 2 年長野広域連合長野地域ふるさと事業特別会計予算
 4. 令和 2 年長野広域連合ごみ処理施設事業特別会計予算
 5. 令和元年長野広域連合一般会計補正予算
 6. 長野広域連合老人ホーム入所判定委員会条例

○本会議＝6 議案は何れも全員賛成で可決しました。

- 承認議案
1. (専決処分の報告の承認を求める(長野広域連合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例)

○本会議＝承認議案 1 件は全員賛成で承認可決しました。

議事日程 本会議(議案上程・質疑・委員会付託。承認 1 号上程、質疑、採決)⇒各委員会審査 ⇒本会議(委員長報告・報告に対する質疑・討論、採決) 広域連合長あいさつ ⇒閉会

3. 【 私の議会外議員活動 】

1) 会派共同 有志議員による台風 19 号被災地の現地視察

期 日 令和 2 年 2 月 15 日

場 所 須坂市全域

参加議員 久保田克彦議員、竹内 勉議員、佐藤壽三郎議員

内 容 台風 19 号被災地を令和元年 11 月 12 日以来、再検分しました。

○実況見聞報告

I) 古川、百々川、鮎川の下流域の河川敷状況について。

① 河川敷は土石流によって川底に堆積している状況が顕著であった。

見聞するに、何ら状況は変わっていない。速やかに古川、百々川側に堆積した土砂の浚渫をすべきである。

II) 福島町の千曲川河川敷の状況について。

① 千曲川の濁流により、スポーツ施設が悉く破壊されていた。

② 地域住民の手により、ごみや流木等の撤去が進んでいた。

見聞するに、ごみや流木等の撤去がなされた状況になった。

III) 千曲川の堤外地における百々川が流れ込む付近の状況について。

千曲川の増水が土手の最上部付近までであったことが、草木の変色で確認できた。一応主要幹線道路敷きと農地との区分はされているようだが、余りにも土砂の堆積が多いので手つかずの状況である。濁流はリンゴの木の最上部まで浸したようで、一切出荷できず放置状況にある。

○千曲川河川敷内における農業耕作者（黒岩基之氏：村山町在住）の申出の要旨

① 河川敷内にあった道路が泥で不明確状況にあるので、道路の確保を図られたい。

② ごみや流木等の撤去をされたい。

③ 耕作地に堆積した泥の撤去をされたい。

④ 千曲川河川敷内にある旧土手の修復をされたい。

⑤ 果樹木が泥で埋まりこの儘では根腐れが生じる。個人の力では手に負えないので、行政の力で救済して欲しい。

見聞するに、堆積した土砂の撤去が大方なされ、ごみや流木等の撤去がなされた状況になった。

IV) 北相之島団地並びに八木沢川機場付近の状況について。

① 相之島団地内の浸水家屋は浸水した家財道具や畳襖等の撤去がなされ、床板を剥がしての床底の乾燥を図っている状況であるが、時季が低温傾向にあるため効果は薄い状況ある。最近の住宅建材の断熱材が水を含んでしまっていることもあり、その弊害が課題のようである。復旧のために国の支援が必要と感じた。

○見聞するに、修復されて住居に戻られた家屋もあるが、依然被災前の生活に戻られていない様子が伺える。速やかに実態調査をすべきである。

② 八木沢川機場付近は、内水氾濫の状況が水害の爪痕として窺われた。

○見聞するに、機場の貯水池、機場の流水取入れ口は、土砂の堆積が著しく、これでは機場は稼働できない状況下にあると思料される。

V) 日滝原産業団地内の被災によるごみ集積地の状況について。

① 須坂市は平生からごみの区分けの慣習が徹底していることもあり、極めて整然とした状況であった。

○見聞するに、集積地のごみの搬出が順調に進んでいる状況にあった。

VI) 仁礼地籍の長野広域連合の最終処分場建設地における被災状況について。

① 最終処分場の北側の沢からの流水が激しく、最終処分場内に流入し、既存調整池等に被害が発生した模様。最終処分場に通じる市道の両端の農地には、濁流の痕跡が認められた。

○見聞するに、農耕地は修復されていた。

2) 葬儀 故山崎 厚先生葬儀執行

期日 令和2年2月22日

場所 飯山市：真宗寺

内容 小生が中学時代の同級会世話人を務める、市立常盤中学校で3年間担任教師として教えを賜った、山崎厚先生（享年99歳）の葬儀執行に参列するため、飯山市・真宗寺に出向し焼香。恩師との惜別。

3) 巡回 夜間に北相之島町内全域巡回（単独・会派無所属クラブ）

期日 令和2年2月25日 午後8時～

場所 北相之島町内

内容 一般質問で答弁される数値の裏付けを取るため、台風第19号で浸水被害を受けられた住民の方々が、北相之島の自宅にどの位の住民が戻られているかの現況を知るため、住宅の灯りと自家用車の駐車を手掛かりに、町内を隈なく巡回しました。

4) 学習会 上程議案の疑問点の洗い出し

期日 令和2年2月29日午前9時～午後4時30分

場所 議会第1委員会室

内容 久保田克彦議員、竹内 勉議員、佐藤壽三郎議員は、今3月定例

会に上程された、議案の全てを所管委員会に区分して、疑問点や改正点を詳細に学習した。

4. 【古今東西の名言集】

成熟するためには、遠回りをしなければならない。開高 健

5. 【史記から拾う金言】 出典：史記列伝 岩波文庫

「もしも韓信が道理を学び、謙虚で、自分の功績をほこらず、その才能を鼻にかけなかったならば、ほとんど理想的な人となれたであろう。」

○淮陰侯列伝 第三十二

「韓王信と盧縮はもともと道徳・善行を積み重ねた祖先がいたわけではない。その場限りの権謀術策に終始し、ごまかしと力によって成功したのだが、やがては追いつめられて良い智恵も浮かばず、とどのつまりは匈奴へ逃げ込んだ。憐れではないか。」

○韓信・盧縮列伝 第三十三

◆ 【青春の記憶】

中学生 3 年間の担任であられた山崎厚先生を偲んで その 1

回 り 道 を 厭 う な

令和 2 年 2 月 19 日夜半、恩師であられた山崎厚先生がご逝去された訃報が、ご遺族から寄せられました。享年 99 歳の天寿を全うされたと言え、恩師との永訣は口惜しい限りです。

昨年 10 月に先生の「白寿の祝い」を企画しましたが、台風第 19 号が東信から北信地方を襲い、須坂市も甚大な被害が発生し、先生のお住まいである飯山市も同様に浸水が発生、祝いを催す会場も浸水被害を受けました。更に市議会議員として台風第 19 号の復旧に勤しまねばならない役務もあることから、洵に残念乍ら「白寿の祝い」は延期とせざるを得なくなりました。

当初の「白寿の祝い」の呼びかけに、賛同するも当日は欠席の同級生から預けられた「先生に花束の足しに」と差し出された金員の処理もあり、私と同級会の会計である小池君は、暮れの 27 日飯山市に出向き、先生と飯山の「うなぎの本多」で昼食をとりながら歓談をすることが叶いました。まさかこれが先生との今生の別れの歓談になるとは些かも思わず、来年（令和 2 年）は「百歳満願成就」のお祝いをするを約束して須坂に帰りました・・・

思えば山崎厚先生との出会いは、昭和 35 年の春に我々が市立常盤中学校に入学した日でした。当時の常盤中学校は、須坂小学校の一部の学童と小山小学校の学童が合流する中学校でした。戦後の団塊の世代である我々は、1 学年が 8 クラスもある

大人数でしたが、私は7組に汲み込まれました。

この7組の担任されることになられた山崎厚先生は、常盤中学校に新たに赴任されて来られたことを、先生自らの自己紹介で知りました。更に数学と美術の先生であられることも分かりました。先生の自己紹介の後に、生徒が順次起立して名乗りをあげました。決まり切ったワンパターンの自己紹介でしたが、これが3年間の中学校生活の事始めであったと記憶しております。

茲で先生の人となりを記したいと思えます。

先生は、極めて温厚な方であられました。但し「筋を通すこと」を大変重んじられました。筋違いは絶対に許さない御仁でした。更に、男子^{おのこ}として姑息なことは決して行ってはならないと、それはそれは厳しく戒められました。それ以外は、細かなことに余り頓着されない、大らかな御仁であられました。

中学3年生の3学期の高校入試も迫ったある日、私は職員室に呼び出されました。先生はいきなり「母子家庭の長男としての心得」について語られ始め、「なぜ、長男としての心得が必要なのか。長男として生まれた以上、親父代わりに弟や妹の面倒を見ること。母親を楽させること。これを生涯に亘って心底に留め置いて生きなければ、どんなに寿三郎が将来偉くなっても、決して偉いとは言えないんだぞ。」と、真剣な顔で語りかけられました・・・

父親を亡くし、7人の姉弟妹の母子家庭で育った私に、「父親を亡くしていることは甚だ不憫と思うが、親父さんを早くに亡くしてしまったことは、これはどうしようもないことなんだぞ。これは寿三郎が生まれながらに背負う宿命というものだ。

然し、この世に生を受けた以上、人には天賦というものもあるんだ。この天賦が何かは自分が探し出すものなんだが、これが俺の天賦と思ったら、どんなに回り道をしてでも諦めずに掴み取るんだ。宿命と天賦を自覚しながら、父親がいない分寿三郎は人より苦勞するが、長男としての心得が大切なんだな。分かるな・・・」と懇々と諭して下さいましたが、当時15歳の私には先生が言われることは、正直言って殆ど理解できませんでした。

おぼろげながらに「父が居ない分、長男として弟や妹に不憫な思いをさせてはならない。お前が全日制に進学して、仮に弟を夜学に進学させることとなれば、お前は一生世間の笑者になるんだぞ。分かるな。」と諭されました。この諫言こそがあの日から、生涯に亘って私の生き方を、大きく変える端緒となりました。

あの日から57年・・・

私も古希を越えるも、少年時代に諭された「母子家庭の長男としての心得」を肝に銘じて生きて来た心算です。ときには挫けそうになり、諦めかけたりもしましたが、「回り道を厭うな。」の先生の諫言を道標に日々を過ごしたことが、曲りなりに

今あると感謝をしております。誠に恩師の遠望された諫言は有り難いものと思
います。

万感の感謝を込めて、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

合掌

■□■□■□■□ 発行日 令和2年（2020）2月29日

編集：発行人 須坂市議会議員 佐藤 壽三郎

<http://www.zyusaburo.com/> ホームページ

<http://zyusaburo.blog.fc2.com/> ブログ・千曲のかなた